



料金後納
郵便

BANDO DOING MORE on the new frontier

株主の皆様へ

バンドー化学株式会社

平成24年3月期 第3四半期（連結）

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
事務取扱場所 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
☎0120-094-777（通話料無料）

返送先 〒540-8694 大阪東支店私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

まずこちらを

開く 濡れている場合は乾かしてから
はがしてください

配当状況

	1株当たり配当金（円）					配当金総額 （年間） （百万円）	配当性向 （連結） （%）	純資産 配当率 （連結） （%）
	第1 四半期末	中間期末	第3 四半期末	期末	年間			
2012年3月	-	4.00	-	4.00 （予想）	8.00 （予想）	/	/	/
2011年3月	-	4.00	-	4.00	8.00	787	23.7	2.0
2010年3月	-	3.00	-	3.00	6.00	602	48.7	1.6

会社概要

社名 バンドー化学株式会社
Bando Chemical Industries, Ltd.
創業 1906年（明治39年）4月14日
設立 1937年（昭和12年）1月7日
本社事務所 神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
TEL (078) 304-2923
従業員数 1,328名（平成23年9月30日現在）
ホームページアドレス <http://www.bando.co.jp>

事業所

東京支店、名古屋支店
加古川工場、南海工場（大阪府泉南市）、和歌山工場、足利工場
生産技術センター（神戸市）、R&Dセンター（神戸市）、伝動技術研究所（和歌山県）



<http://www.bando.co.jp>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL（通話料無料）0120-094-777
公告掲載新聞	日本経済新聞・神戸新聞
上場取引所	東京（第1部）・大阪（第1部）

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

本データの記載内容は、平成24年3月期第3四半期決算短信に基づき作成しております。
なお、その後に公表される可能性のある訂正情報や業績予想の修正情報については、本データの記載内容には反映されません。



株主の皆様へ

2012年2月
バンドー化学株式会社

平成24年3月期第3四半期累計期間（連結）の概況をお届けいたします。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国での財政赤字や失業率の高止まり、欧州における金融不安などの影響を受け、中国やインドをはじめとするアジア新興国の成長に陰りがみられるなど、減速感が強まるなかで推移いたしました。そうした中で、9月に発生したタイの洪水被害は、サプライチェーンの問題を顕在化させるなど、世界経済に大きな陰を落としました。一方、国内経済は、東日本大震災からの復旧・復興過程にあるものの、原材料価格の高止まりや長引く円高の影響に加えて、タイにおける生産活動の一時停止の影響を大きく受けて、厳しい状況で推移しました。

こうした状況の下、当社グループは、国内外市場における販売拡大やグローバルコスト競争力の強化に注力するとともに、震災復興需要への対応を鋭意進めてまいりました。特に、新興国を中心とする海外市場における販売拡大と需要増に対応するための生産体制の増強を図るとともに、海外への生産移管による生産の最適化を含め、グループをあげての総原価低減活動に取り組んでまいりました。

しかしながら、当社グループの第3四半期累計期間（連結）の業績は、次頁（右記）以降のとおり前年同期比では、減益となりました。また、通期の業績の見通しにつきましては、タイ子会社で、洪水による直接的な被害は発生しなかったものの、タイ子会社の生産活動の一時停止の影響およびお客様における生産停止や減産の影響を大きく受け、昨年12月22日に業績予想の下方修正を行いました。

こうした中ではありますが、配当金につきましては、前期同様、1株あたり年間8円（うち中間配当金として4円は実施済）を予定しております。また、昨年10月～12月にかけて計197万株の自己株式取得を実施し、株主価値の向上に努めております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役会長
小林 昭夫



代表取締役社長
原 和義

平成24年3月期第3四半期（連結）の概況

（詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」掲載の「平成24年3月期第3四半期決算短信」をご覧ください。

■ 経営成績



● 通期 ■ 第3四半期



■ 事業のセグメント別売上高の状況



■ 平成24年3月期の連結業績予想

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

売上高	通期	84,500百万円	△0.4%
営業利益	通期	3,800百万円	△24.9%
経常利益	通期	3,300百万円	△33.6%
当期純利益	通期	800百万円	△76.0%
1株当たり当期純利益	通期	8円17銭	

業績予想は、平成23年12月22日公表時から変更しておりません。なお、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

郵 便 は が き